

平和で安心・安全な社会の実現



連合長崎地域協議会
議長 塩田 淑文

新年明けましておめでとうございます。

連合長崎地協構成組織の組合員の皆様に於かれましては、ご家族お揃いで幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は連合長崎地協の諸活動に対しまして、多大なる

ご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界においては、長期化する紛争が世界的なエネルギー価格の上昇、食料品を中心とする物価の高騰など生活や業務に直結する懸念材料が存在したことで多くの活動に影響を及ぼしています。国内においては、予測が難しい自然災害が発生した年となりました。一日も早い復興を願います。政策実現推進活動においては、昨年10月に施行されました衆議院総選挙、長崎1区では「西岡秀子」氏の3期目の当選を果たすことができました。構成組織組合員皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。私たち

が「働くことを軸とする安心社会」を目指す上で、働く者・生活者の立場に立った政策制度要求の実現に向けた取り組みを継続して展開できることとなりました。

本年におきましては、第27回参議院議員通常選挙及び各種選挙へ取組みます。大変厳しい戦いが予想されますが、我々の声を政治に反映させ政策制度を実現させることは、仕事や生活に大きく影響するものであります。絶対に負けられない戦いであります。連合長崎が推薦する候補者の勝利に向け取り組みを展開して参りたいと考えます。引き続き、皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

春季生活闘争は、前年度連合長崎結成以来最高の賃上げ(5.06%)が実現しました。この結果が継続できるように世間動向を注視しながら取組みます。連合長崎地協は、各種活動を展開するにあたり、集う仲間の総力を結集し意義ある活動を行って参ります。

結びに、私たちの願いは、すべての働く者の雇用と生活の安定、更には平和で安心・安全な社会の実現です。この一年が、皆様にとって健やかで輝かしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

議員全員が政策制度実現へ全力投球



長崎市議会・市民クラブ
代表 野口 達也

連合長崎・長崎地域協議会に集う組合員の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザやマイコプラズマ肺炎など新たな感染症が猛威をふるう中、長崎の経済は回復基調に向かい、インバウンドなどを中心に観光客も日々増加してい

ます。

一方、昨年は長崎スタジアムシティが開業され、西九州新

幹線や長崎市役所の開業に続いて、長崎市の新たなランドマークとなりました。また、令和3年に都市計画決定された茂里町から時津町野田郷までの高規格道路「長崎時津縦貫線」の早期整備については、昨年から茂里町-滑石間の新規事業化が進んでいます。

このような中で、コロナから回復を目指す経済、生活環境について、私たち長崎市、長与町、時津町の連合推薦議員は、連合長崎・長崎地域協議会の政策・制度実現に向け、今年も各労組から積み上げられた諸問題に全力で取り組んでまいります。

長崎市に「2025年度政策制度要求書」を提出

11月12日(火)、連合長崎地協は長崎市議会市民クラブと共に、長崎市役所において11分野18項目にわたる「2025年度政策制度」に関する要求書を鈴木史朗 長崎市長に手渡しました。

冒頭、塩田議長から長崎地協活動へのご協力及び100年に一度の変革期を迎える市政での対応に感謝を申し上げ、「私たち連合はすべての働く者の雇用と生活の安定、平和で安心安全な社会の実現を目指して活動を進めています。そしてこの長崎市を魅力ある都市にするために、私たち連合も一緒になって取り組みを進めていきたいと思っています。今回の要求書に込めた思いは、この長崎が好きで今後も生活し続けたいという願いです。

この要求が実現することで、更なる安全で安心できる町となり人が定住化し活性化に繋がっていくと考えます。働く者の声に耳を傾けていただき、共に前進することを願っています」と述べました。

続いて西野事務局長より、要請書の概要・趣旨について説明いたしました。その後、労働行政の強化、人口減少対策、地域公共交通の維持と渋滞緩和対策など、個別の要求について提言し、意見交換を行いました。

要求書に対する長崎市からの回答は2月13日に受領する予定です。



連合長崎地協第34回定期総会

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう

11月1日(金)、長崎県勤労福祉会館にて連合長崎地域協議会第34回定期総会を開催しました。

議長団(本多代議員/自治労、大西代議員/U Aゼンセン)選出の後、主催者を代表して塩田議長はあいさつの中で、①政治活動の取り組み、②政策制度要求の取り組み、③総合生活改善の取り組み、の3点に触れ、「労働者を取り巻く環境は厳しいが、連合地協の組織力でこの難局を全員で乗り切ろう!」と訴えました。

総会には来賓として、政党、労働団体、労働福祉団体、各級議員など多数のご出席をいただき、代表して連合長崎 高藤会長、長崎市経済産業部 大賀部長、国民民主党長崎県1区総支部西岡代表、立憲民主党長崎県第2区総支部山田総支部長、社民党長崎総支部 池田代表より挨拶を賜りました。

議事では、報告事項として、①2024年度経過報告、②2024年度会計報告・会計監査報告、審議事項として、①2025年度活動方針、②2025年度予算、③第27回参議院議員通常選挙及び各種選挙等対策、④連合長崎地協役員の交代⑤連合長崎地協役員の表彰など全議案について満場一致で決定確認しました。最後に、塩田議長の「がんばろう三唱」で総会を終了しました。



塩田議長あいさつ



がんばろう三唱